

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030083

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	ほたて被害緊急支援事業②		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成28年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	水産加工業者の維持		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	21社		関係例規・法令名	有 水産加工業雇用維持対策事業補助金交付要綱		
住民参加 住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	<p>平成26年12月以降の度重なる大時化によるほたて貝の被害に伴い、経営の悪化が懸念される町内加工業者に対し各種支援を行う。 【水産加工業雇用維持対策事業】 水産加工業雇用維持対策事業補助金交付要綱に基づき、雄武加工業協同組合を通じ、各加工業者へ補助を行う。 総事業費 248,400千円 【水産廃棄物処理料緊急軽減対策事業補助金】 ほたて減産により、雄武水産施設利用協同組合の処理料単価が大幅に増額となり、加工業者の負担軽減のため、増額分の補助を行う。 総事業費 38,897千円</p>			<p>【水産加工業雇用維持対策事業】 補助対象 19社 448名 町補助金 124,200千円</p> <p>【水産廃棄物処理料緊急軽減対策事業補助金】 補助対象 560t×27,830円 町補助金 15,580千円</p>	<p>【水産加工業雇用維持対策事業】 補助対象 17社 413名 町補助金 113,100千円</p> <p>【水産廃棄物処理料緊急軽減対策事業補助金】 補助対象 460t×50,690円 町補助金 23,317千円</p>		
	事業費(千円)	276,197	0	0	139,780	136,417	0
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	276,197			139,780	136,417		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	267,229	0	0	134,205	133,024	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	267,229			134,205	133,024		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/縮小	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			21社	19社	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	98%	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	49%	97%	97%	
	備考欄						

事業名	ほたて被害緊急支援事業②	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	水産加工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	支援対策対象水産加工業者数								
【抱える課題やニーズは】	平成26年度の低気圧による大時化の影響により、ほたて貝が大幅に減産となった。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ほたて原貝安定確保による経営安定化までの雇用維持と負担軽減	① 雇用維持対策対象水産加工業者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>17社</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17社</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	17社	実績値	17社	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	17社										
実績値	17社										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	水産加工業者の雇用維持と経営の安定化	② 水産廃棄物処理料緊急軽減対策対象水産加工業者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>19社</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>19社</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	19社	実績値	19社	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	19社										
実績値	19社										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	水産加工業者への雇用維持に係る補助	水産加工業者がほたて原料加工時期とする6月から11月を対象とし、従業員数を基準として水産加工業雇用維持対策事業補助金交付要綱に基づき補助金を支出									
	水産加工業者への新たな負担増に係る補助	ほたての大幅な減産に伴う水産廃棄物処理施設の収入源確保による処理料増額分を補助金として支出									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町の主要魚種であるほたて貝は、水産加工業者のほとんどが原料としているため死活問題であり、町内の雇用の場を支える加工業者の衰退は、地域経済にも大きな影響があることから、支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおりの支援が行えており、水産加工業者の雇用が維持されているとともに、水産廃棄物処理経費の負担軽減が図られている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	災害に伴う緊急的な支援であり、水産加工業者の雇用が維持されていることから、大きな効果が得られている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	災害に伴う緊急的な支援であり、特に雇用維持対策は、水産加工業雇用維持対策事業補助金交付要綱に基づき支出しており、公平性が保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町内の雇用の場を維持するため、早期から関係団体と協議を行い、水産加工業者を対象に計画どおり事業を遂行できており、目的に即した効果が表れている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/縮小		
平成29年度のほたて貝の生産計画は、ある程度の回復が見込まれるが、水産加工業者にとって厳しい状況となるため、補助単価を引き下げ、引続き支援を行なう必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止